

渡島・檜山地方の気象

平成23年1月（2011年）

函館海洋気象台

平成23年2月28日

◎ 気象概況

この期間の天気は、冬型の気圧配置になることが多く雪が降ったが、晴れた日もあった。

また、低気圧が通過し大雪となった日もあった。

月平均気温は平年より低く、月降水量は一部を除いて平年並～平年より少なく、月間日照時間は平年並～平年より多かった。

【上旬】

1日は、冬型の気圧配置で日本海側で雪が降った所もあったが、概ね晴れた。2日は、冬型の気圧配置で渡島北部・檜山地方は概ね曇りで、渡島東部・渡島西部では晴れた所があった。3日は、冬型の気圧配置で概ね曇ったが、渡島東部では晴れた所があった。4日は、冬型の気圧配置で概ね曇りで、日本海側では雪が降った所もあった。5日は、低気圧の通過で概ね雪が降った。6日は、冬型の気圧配置と上空の非常に強い寒気の影響で雪が降った。7日は、冬型の気圧配置と上空の非常に強い寒気の影響で雪が降ったが、渡島東部では概ね曇りだった。8日は、冬型の気圧配置で概ね雪が降った。9日は、冬型の気圧配置で雪が降ったが、渡島地方では晴れた所があった。10日は、冬型の気圧配置で雪が降ったが、渡島北部・渡島東部では晴れた所があった。

【中旬】

11日は、冬型の気圧配置で雪が降ったが、渡島北部・渡島東部では晴れた所があった。12日は、低気圧の接近で雪が降って、渡島東部では大雪になった所があった。13日は、低気圧の通過で雪が降った。14日は、冬型の気圧配置で雪が降ったが、渡島地方では晴れた所があった。15日は、冬型の気圧配置で雪が降ったが、渡島北部・渡島東部では晴れた所があった。16日は、気圧の谷の通過で雪が降ったが、渡島東部では概ね曇りだった。17日は、冬型の気圧配置で雪が降ったが、渡島東部では晴れた所があった。18日は、冬型の気圧配置で雪が降ったが、渡島北部・渡島東部では晴れた所があった。19日は、冬型の気圧配置で雪が降ったが、渡島北部・渡島東部では晴れた所があった。20日は、低気圧の通過で雪が降って、渡島西部・檜山地方では大雪になった所があり、ふぶいた所もあった。

【下旬】

21日は、冬型の気圧配置で雪が降ったが、渡島北部・渡島東部では晴れた所があった。22日は、冬型の気圧配置で雪が降ったが、渡島北部・渡島東部では晴れた所があった。23日は、冬型の気圧配置で雪が降ったが、渡島北部・渡島東部では晴れた所があった。24日は、低気圧の通過で雪が降ったが、渡島北部・渡島東部・檜山北部・檜山奥尻島では晴れた所があった。25日は、気圧の谷の通過で檜山地方では雪の降った所があったが、晴れた所もあった。26日は、冬型の気圧配置となっ

たが、概ね晴れた。27日は、冬型の気圧配置で檜山奥尻島で雪が降ったが、そのほかの所では概ね晴れた。28日は、低気圧の通過で雪が降って、檜山地方でふぶきになった所があった。29日は、低気圧の影響で檜山地方で雪が降ったが、渡島地方では晴れた所があった。30日は、低気圧の影響で檜山地方で雪が降ったが、渡島地方では晴れた所があった。31日は、冬型の気圧配置で雪が降った。

気 温：各地点の月平均気温は $-5.6 \sim -1.5$ °Cで、平年差は $-1.8 \sim -0.7$ °C。
すべての観測点で平年より低かった。

降 水 量：各地点の月降水量は 10.5 ～ 237.0 mmで、平年比は 15 ～ 125 %。
福島町千軒・今金で平年より多く、長万部・八雲町八雲・木古内・松前・厚沢部町鶉・江差では平年並で、そのほかの観測点では平年より少なく、せたな町瀬棚・上ノ国町石崎では平年よりかなり少なかった。せたな町瀬棚では 10.5 mm、上ノ国町石崎では 25.0 mmを観測し、1月における少ない方からの極値をそれぞれ更新した。

日照時間：各地点の月間日照時間は 32.6 ～ 125.5 時間で、平年比は 107 ～ 157 %。
八雲町八雲・函館市美原・厚沢部町鶉では平年並で、そのほかの観測点では平年より多く、長万部・函館市川汲・松前では平年よりかなり多かった。長万部では 116.6 時間を観測し、1月における多い方からの極値を更新した。

◎ 気象官署（函館）、特別地域気象観測所（江差）の統計値

	気温 (°C)		降水量		日照時間		降雪の深さ	月最深積雪
	月平均	平年差	月合計 (mm)	平年比 (%)	月合計 (h)	平年比 (%)	月合計 (cm)	(cm)
函 館	-4.3	-1.4	52.5	72	115.6	108	150	45
江 差	-2.0	-0.9	79.5	91	41.2	114	16]	27]

(平年比・差は 1971 年から 2000 年までのデータで算出した平年値を用いて求めている。)

注：数値に、] や) が付く場合は、統計した期間に欠測が含まれていることを示す。

◎ 気象官署（函館）、特別地域気象観測所（江差）の極値更新表

函館、江差における 1 月の極値の更新はなし。

◎ 異常気象および気象災害発生状況

《1 月 28 日、渡島地方》

概 況：津軽海峡を低気圧が通過していた。

気象現象名：波浪

気象災害名：海上波浪害

気象観測値：最低海面気圧 (函館市美原) 1012.4hPa (28日13時20分)
 最大風向・風速 (函館市美原) 北西 12.0m/s (28日16時31分)
 最大風向・風速 (松前) 西北西 13.9m/s (28日13時45分)
 最大瞬間風向・風速 (函館市美原) 北西 17.3m/s (28日16時26分)
 最大瞬間風向・風速 (松前) 西北西 21.6m/s (28日13時24分)
 最大波高 (松前) (速報値) 4.6m (28日02時)
 有義波高 (松前) (速報値) 2.7m (28日16時)

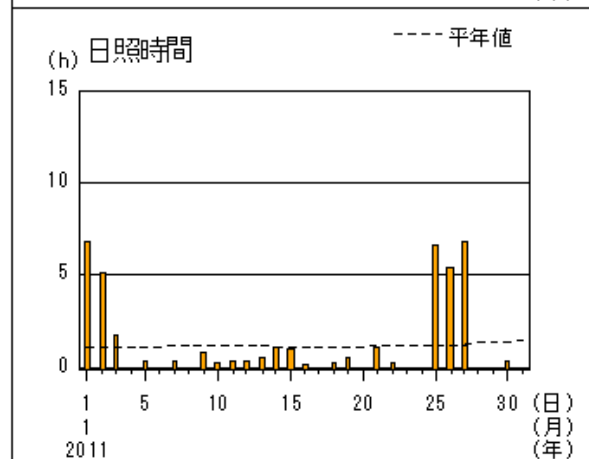
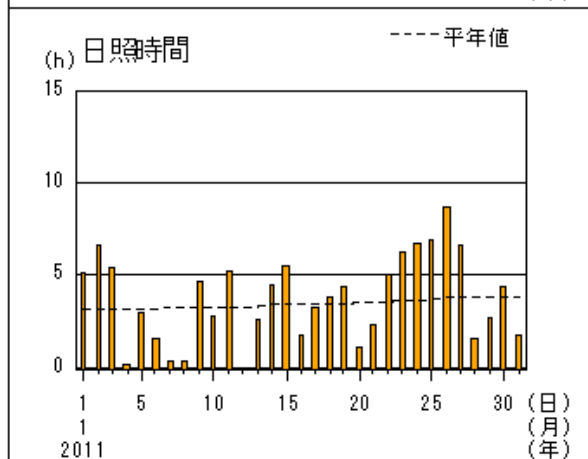
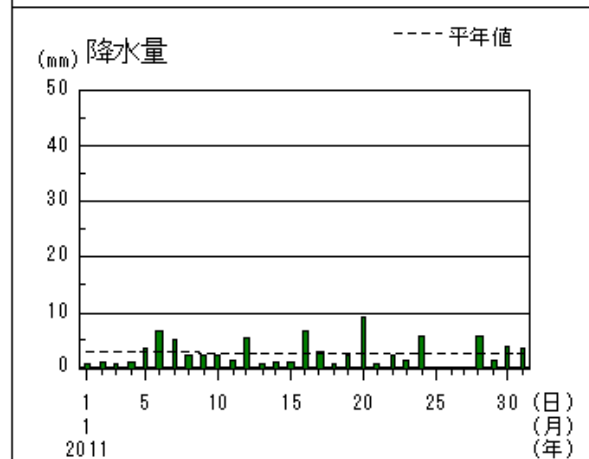
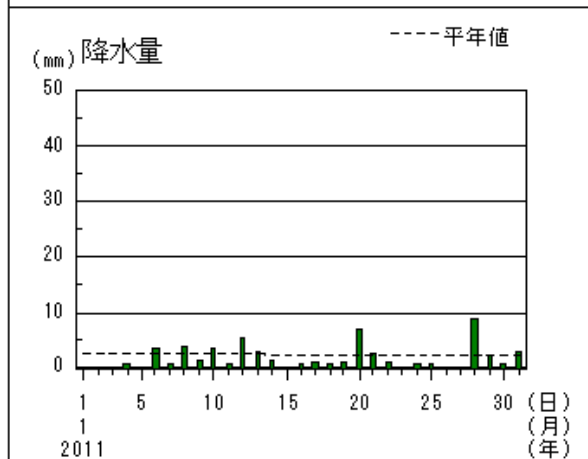
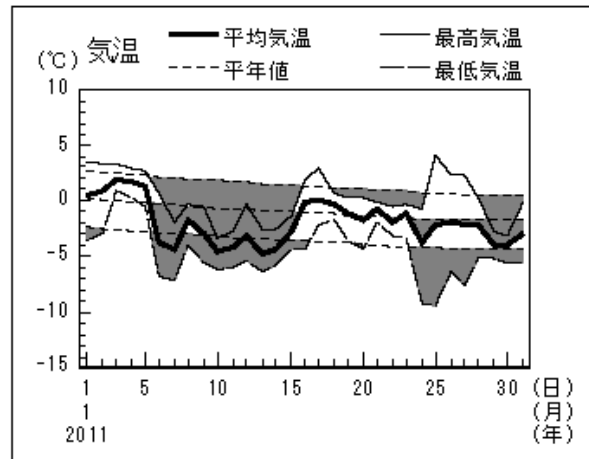
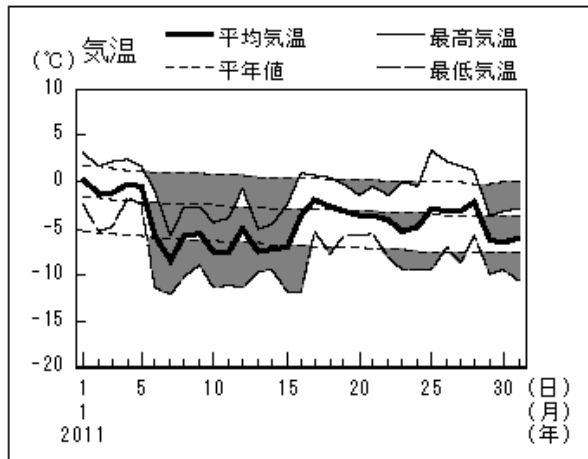
被害状況：函館市えさん漁協所属のごっこ刺し網漁船（0.9トン）が、函館市山背泊漁港沖で転覆しているのを函館海上保安部の巡視船が発見、乗組員2名を収容したがいずれも病院で死亡が確認された。

◎ 氣象經過圖（1月）

地上氣象：2011年1月1日-2011年1月31日

函館

江差



◎ 気象分布図（1月）

注：以下の気象分布図は地域気象観測統計に基づき作成しているため、気象官署の函館および江差の値が異なる場合がある。

